

科目の目標

学校教育目標	知識・技能		思考・判断・表現		学びに向かう力・人間性等		
	理解力	生活力	分析力	表現力	関心力	受容力	向上力
科目で育成する 資質・能力	慣用表現、文法事項を理解し表現することができるようになる。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて表現することができるようになる。	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現することができるようになる。	身近な出来事や日常的な話題について話伝えることができる。		考えの違う相手とも、客観的な事実をもって対等に議論できる。	困難かつ複雑な問題を細分化し解決しようとする。
評価の観点 の趣旨	文法を適切に使用し、表現することができる。 場面に適切な表現を使用することができる。		得た情報を整理し適切に表現することができる。 日常的な話題や社会的な話題について伝える内容を整理し、要点や意図を明確にしながら伝え合うことができる。		相手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		
評価の方法	単元テスト 定期考査	小テスト	定期考査	小テスト		小テスト レポート	発表 レポート

年間計画

単元	学習内容	配当時数	特に重視する資質・能力	評価の観点と規準
知覚動詞	身の周りの人を励ますためにできることについて、英語で述べる。	12	【分析力】 人を励ますためにできることについて、適切な表現を用いて書いたり話したりできる。	【学びに向かう力・人間性等】 知覚動詞を用いて、身の周りの人を励ますためにできることについて、英語で述べるができる。
関係副詞：where, when	自分の好きな場所について述べる	16	【表現力】 自分の好きな場所について適切な表現を用いて書いたり話したりできる。	【思考・判断・表現】 関係副詞：where, whenを用いて、自分の好きな場所について述べるができる。
使役動詞	食料事情について根拠を示しながら英語で説明する。	16	【分析力】 日本が輸入している食料について調べたことに自分の意見や感想を加えて書いたり話したりできる。	【思考・判断・表現】 使役動詞を用いて、食料事情について根拠を示しながら英語で説明することができる。
分詞構文	身のまわりの社会や世界で起こっている問題について、英語で述べる。	12	【理解力】 人の意見に対して賛成か反対を示して、その理由を述べるができる。	【思考・判断・表現】分詞構文を用いて、身のまわりの社会や世界で起こっている問題について、英語で述べるができる。
物語を読み、情景や登場人物の心情を読み取る。	まとまった文章を情景や登場人物の心情を考えながら暗唱する。	14	【表現力】 情景や心情が相手に伝わるよう気持ちを込めて暗唱することができる。	【思考・判断・表現】まとまった文章を情景や登場人物の心情を考えながら暗唱することができる。

備考

--